

特集1

市民と語る会を開催しました。

特集2

会派要望を提出しました。

12月定例会

- P.2 市民と語る会
- P.6 会派要望
- P.8 議決結果
- P.9 補正予算
- P.10 一般質問
- P.20 議会活動1年間

しよらほら
市議会だより
第86号

市民と語る会を 開催しました！

本年度で5回目となる市民と語る会を実施しました。

市民と語る会は、市議会基本条例に基づき実施するもので、市民の皆さんの多様なご意見・ご要望等を把握して、議案審査等に活用し、政策へ反映させることを目的としています。

自治振興区単位では、自治振興区の役員・事務局の方を中心にご協力いただき、10月10日から11月21日の期間において全20会場で実施し、計367人の方にご参加いただきました。

※紙面編集時期の都合により、井戸端スタイルについての報告は、別途発信する予定です。



●自治振興区単位の実施状況●

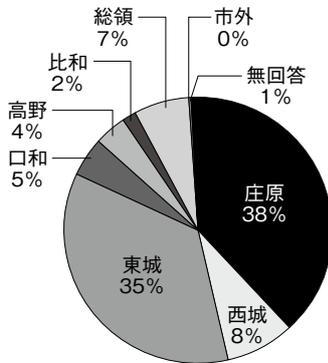
NO	地域	地区	開催日	開催時間	会場	テーマ	担当班	参加数
1	庄原	庄原	11月11日(火)	19:00~21:00	庄原自治振興センター	・儲ける地域づくりを語ろう	4班	35人
2	庄原	峰田	11月19日(水)	19:00~21:00	峰田自治振興センター	・安全な地域づくり	4班	12人
3	庄原	敷信	10月31日(金)	19:00~21:00	敷信自治振興センター	・【共通テーマ等】	3班	15人
4	庄原	東	11月 4日(火)	19:00~21:00	東自治振興センター	・地域づくりと自治振興区のあり方等	1班	17人
5	庄原	北	11月 5日(水)	19:00~21:00	北自治振興センター	・10年先の庄原市を見据えて	3班	14人
6	庄原	山内	10月16日(木)	19:00~21:00	山内自治振興センター	・有害鳥獣対策等	1班	9人
7	庄原	本村	10月28日(火)	19:00~21:00	本村自治振興センター	・地域のこれからを語ろう	2班	11人
8	庄原	高	11月 4日(火)	19:00~21:00	高自治振興センター	・地域のこれからを語ろう	2班	11人
9	西城	西城	10月10日(金)	19:00~21:00	西城自治振興センター	・【共通テーマ等】	3班	32人
10	東城	小奴可	10月24日(金)	19:00~21:00	小奴可自治振興センター	・【共通テーマ等】	4班	25人
11	東城	八幡	10月21日(火)	19:00~21:00	八幡自治振興センター	・各議員のこれまでの一般質問を含めた取り組み内容についての質疑応答等	1班	12人
12	東城	田森	11月 7日(金)	19:00~21:00	田森自治振興センター	・安心安全な地域づくり等	1班	35人
13	東城	東城	11月21日(金)	19:00~21:00	東城自治振興センター	・東城のまちづくり等	2班	25人
14	東城	帝釈	10月21日(火)	19:00~21:00	帝釈自治振興センター	・自治振興区のあり方、地域交通、農林業等	2班	30人
15	東城	久代	11月11日(火)	19:00~21:00	久代自治振興センター	・防犯対策、有害鳥獣対策、観光振興と施設整備	3班	8人
16	東城	新坂	11月21日(金)	19:00~21:00	新坂自治振興センター	・【共通テーマ等】	1班	12人
17	口和	口和	10月27日(月)	19:00~21:00	口和自治振興センター	・議員、議会へ望むこと	4班	14人
18	高野	高野	11月17日(月)	19:00~21:00	上高自治振興センター	・地域交通、定住施策等	2班	15人
19	比和	比和	10月21日(火)	19:00~21:00	比和自治振興センター	・【共通テーマ等】	3班	6人
20	総領	総領	10月15日(水)	18:30~20:30	総領自治振興センター	・コンパクトシティ、自治振興区職員の処遇改善等	1班	29人
合 計								367人

会場で配布・回収した市民と語る会アンケートより

回答総数 346人 (回答率 90%)

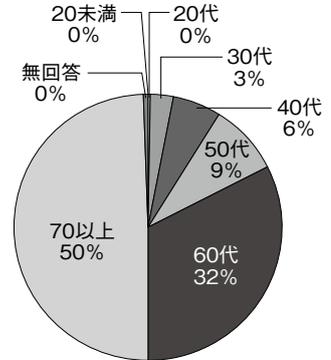
住まい

地域	回答数
庄原	132
西城	29
東城	123
口和	16
高野	14
比和	6
総領	23
市外	1
無回答	2
合計	346



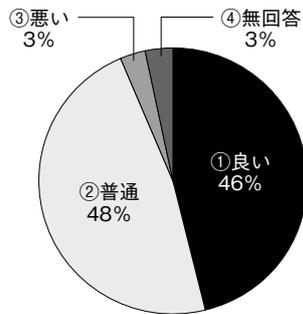
年代

年代	回答数
20未満	0
20代	1
30代	10
40代	20
50代	30
60代	112
70以上	172
無回答	1
合計	346



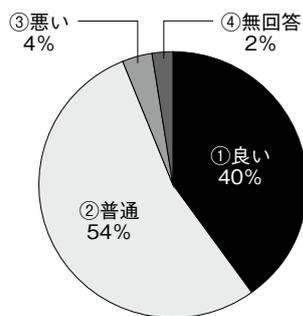
意見の出しやすさ

回答	回答数
①良い	160
②普通	164
③悪い	11
④無回答	11
合計	346



答弁のわかりやすさ

回答	回答数
①良い	139
②普通	186
③悪い	13
④無回答	8
合計	346

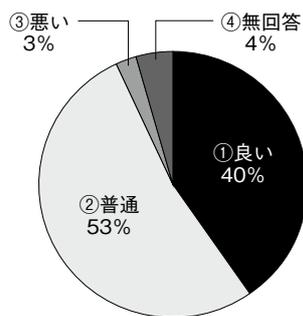


市民と語る会の内容についてのご意見 (抜粋)

- ・とても熱心に意見交換ができたと思う。
- ・庄原市が良くなるよう皆が意見を言い、話し合うことが大切であると改めて感じた。
- ・これまでも参加したが、各質問、意見に対しての返答、進み具合等を返していただきたい。
- ・初めてこの会に参加したが、若い方～中年～高齢の方の意見が聞けて良かった。

全体の感想

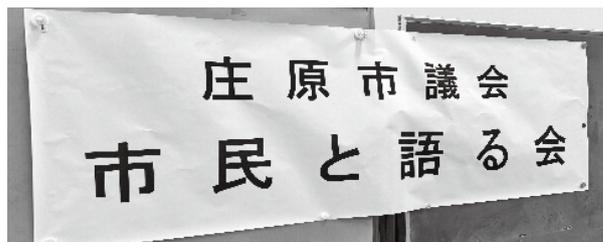
回答	回答数
①良い	140
②普通	182
③悪い	9
④無回答	15
合計	346



庄原市議会についてのご意見 (抜粋)

- ・受け身でなく、行政を動かす様な主体的な行動を望む。
- ・市民から出た質問や意見から何をどう受け止めて調べたり、考えたり、動いたり、そのフィードバックに期待感を持っています。
- ・いろいろな課題が多い中、これまでのやり方にとらわれることなく取り組んでほしい。
- ・今日出た声を持ち帰って終わりではなく、一歩でも取り組みが進むよう支援をいただきたい。

市民と語る会の開催、ならびにアンケートにご協力いただき
ありがとうございました。



1班報告

お一人でも多くの参加者の声を伺うことを重視し、車座の会場配置としました。また、発言者が特定の方向に偏らないように留意することも、年代等その場に合わせて班長が指名もしながら意見を伺う形で進行了しました。時間の制約により参加者全員の発言には至りませんが、各会場とも率直で活発な意見交

●班員構成●

1班	◎近藤久子	福山権二	五島 誠	宇山茂之	青山 学
2班	◎横路政之	桂藤和夫	前田智永	岡野 茂	木山義仁
3班	◎谷口隆明	徳永泰臣	國利知史	桜田亮太	堀内富夫
4班	◎吉川遂也	松本みのり	堀井慎一郎	松森潤平	



換が行われ、対話の場として一定の成果があったものと考えています。

6会場の開催を通じて、地域ごとに異なる非常に切実な課題について、市民の皆さまと直接意見交換ができたことは大きな意義がありました。その一方で、地域の中で前向きに取り組まれている活動や、明るい話題についても多く聞くことができ、地域の力や可能性を改めて認識する機会にもなりました。

今回、一定のテーマを設定して実施しましたが、それ以外にも共通して多く聞かれた意見として、「新市長となり市は変わったのか」といった市政への期待や関心の声、また

「有害鳥獣対策」に対する不安や切実な要望が数多く寄せられました。これらの声からは、市全体として取り組むべき課題と、地域ごとの実情に応じてきめ細かく対応すべき課題の両方が存在していることが明確となりました。

「市民と語る会」で寄せられた意見は、今後の委員会活動や一般質問を通じて市政に反映させていくべき重要な示唆を含んでおり、議員としての役割の重さを改めて認識しました。アンケートでは、昨年度より18件多くの回答をいただき、「全体的に良い」との評価も増加しており、市民の皆さまからの期待の高まりを感じています。今後も直接の対話を大切にし、いただいた声を市政に活かせるよう、議会活動に取り組みしていきます。

2班報告

いずれの会場においても、市の課題や、地域の将来に対する不安等に関する意見が述べられ、活発な意見交換が行われました。なかでも、2班が担当した地域においては、鳥獣被害対策、地域の産業振興（農業・観光等）、地域交通（JR芸備線含

む）に関する意見が多く寄せられました。

鳥獣被害対策については、被害が深刻化しているイノシシ、シカ、サル等による被害の現状と対策強化に関する要望と併せ、全国的に被害が拡大している「クマ対策」に関する確認とともに、今後被害が拡大する前の迅速な対応が求められました。

また、農業・観光等をはじめとする地域の産業振興については、米価の上昇という一時的な明るいニュースがあったものの、担い手不足という課題は依然として深刻であることや、観光客を受け入れるための施設整備やPR強化、さらに、市内の道の駅の再整備の必要性について、議



論を行いました。

地域交通に関しては、住民の利便性確保に向けた万全な取り組みが必要であることを踏まえ、市内の優良事例を紹介するとともに、市民・市・市内関係団体との連携による今後の市の取り組みのあり方について議論を行いました。

今回の「市民と語る会」で出された課題等について、即時対応が必要なもの、所属委員会等で丁寧かつ迅速に協議を進めるものを峻別し、執行部とともに取り組みを検討することとしました。

3班報告

参加された方々は、本市の最重要課題を人口減少問題と捉え、それに伴って様々な問題が生じている事に危機感を感じておられました。また今後の市政運営について不安を感じておられる方もいらっしゃいました。

それぞれの会場では、設定したテーマ以外にも様々な課題が挙げられました。中でも、教育環境、農業振興、獣害対策、移住対策、観光振興、子育て施策に強い課題意識を持たれていることが分かりました。どの会場も、課題について、皆様のこ



意見やアイデアをお聞かせいただくことができました。また、各議員からも、個人的な考え方や思いなどを伝えることができ、建設的な意見交換ができたと感じています。

市民の皆様からいただいたご意見やアイデアを今後の議員活動、議会活動に活かしていきます。

4班報告

令和7年10月から11月にかけて、4自治振興区で「市民と語る会」を担当しました。各会場では、延べ86名の市民の皆様と市政の諸課題について深く語り合うことができました。

今回の「市民と語る会」を通じ、

全地域に共通する課題として「地域コミュニティの持続可能性」が浮き彫りとなりました。小奴可では自治振興区職員の処遇改善や人材確保への提言があり、□和では支所の決裁権限の在り方や地元採用の重要性が指摘されました。また、深刻化する有害鳥獣被害については、捕獲強化のみならず農地への補助や森林整備を求める切実な声が相次ぎました。

地域の特色を活かした活性化案も数多く提案され、庄原会場では、フジラ化石や遺跡などの文化財を観光資源として「儲ける地域づくり」に繋げるべきとの声や、県立大学との



連携強化を望む意見が出されました。安全面においては、峰田会場を中心に、廃校跡地の防災拠点化や自主防災組織への備品整備、避難経路の確保といった具体的な議論が交わされました。交通面では、芸備線の利便性向上や生活路線の確保が、高齢化社会における移動の権利として改めて重要視されています。

議会として、皆様からいただいたこれらの声を重く受け止め、政策提言や予算チェックを通じて市政へ確実に反映させていきます。今後市民の皆様にご寄り添い、現場の声を力に変える議会活動を邁進する決意です。

会派等の要望（要旨）

来年度の予算編成にあたり、各会派が、市長に対して要望を行いました。一部を要望順に掲載します。

会派 市民の会

庄原市行政組織の改編について

・部長の所管範囲について、業務量や職員配置の実情を踏まえ、適正な負担となるよう見直しを行い、より円滑で効果的な市政運営を可能とする体制とすること。ほか

有害鳥獣対策の積極的な推進について

・増加する有害鳥獣による農作物被害・生活被害に的確に対応するため、専らその対策に従事する組織体制を整備するなど、実効性のある被害防止対策を強化すること。

庁舎管理および勤務環境の改善について

・正午から13時まで庁舎の照明を消灯しているが、この時間帯にしか来庁できない市民

もいること、また職員が暗い環境で昼食を摂ることは精神上好ましくないことから、当該時間帯の照明消灯を見直すこと。ほか

市本庁舎における職員の労働環境整備について

・労働安全衛生規則の定めに従い、市本庁舎に男女別の休憩室を設置すること。



会派 NEXT

若年層支援と教育振興

・人口減少を起因とする本市の各課題解決のため、子育て支援、教育振興に徹底的に取り組むこと。また、本市で結婚、子育てがしたいと思えるよう、若年層の所得をいかにして上げていくか全市を挙げて検討、実施していくこと。ほか

地域公共交通の再構築

・JR芸備線存続のため、乗車人数増加への取り組みにとどまらず、権利ビジネスやクラウドファンディングなど、芸備線そのものの価値を表面化させる事業に取り組むこと。

また、国土強靱化の観点から国のスタンスを明らかにさせ、積極的関与を促すこと。ほか

産業振興、地域振興

・森林環境譲与税を活用して境界明確化事業を速やかに市内全域で実施するとともに、自伐型林業の育成を図ること。ほか

行政改革

・デジタル化、情報化の更なる推進を行い、事務軽減、市民サービスの向上を図ること。そのためにも、現在行われているデジタル人材の育成、確保などICTやデザインなどのクリエイティブ人材の活用を図ること。ほか



会派 未来のたね

「庄原らしいこども施策」の推進に向けた教育予算の戦略的拡充

・豊かな体験活動を保障す

るための予算の増額。
・学校裁量による特色ある教育活動予算の新設。

「どこに住んでも幸せな庄原市」の実現に向けた戦略的住宅整備の推進

・老朽化した市営住宅の除却・改修の強化と、ニーズに応じた新たな住宅の戦略的な整備を早急に進める体制の構築。

基幹産業である農業の持続可能性を高める総合的支援策の強化

・農業インフラ（農道、水路等）の長寿命化・更新計画の策定と着実な実行
・新規就農者への技術・経営指導から販路開拓までを包括的に支援する体制の強化。ほか

地域拠点としての「道の駅遊YOUさろん東城」の機能強化に向けた大規模改修の断行

・利用者の満足度向上と魅力創出のための施設改修。
・多機能複合型拠点としての再構築。

有害鳥獣対策の抜本的強化とジビエ利活用の推進

- ・鳥獣対策を一元的に担う官民連携組織の設立支援。
- ・ジビエの新ブランド開発と販路拡大。



会派 清和会

「少子高齢・人口減少社会」への対応と本市の能動的生き残り政策の推進

- ・今後とも国・県としっかり連携し、国が推奨しているDXやICT、AI技術を駆使したりモータートワークの推進と、5Gを含むインターネット通信網の積極的な整備と活用の推進を図ること。ほか

子育て・教育の拡充

- ・地域の宝である子どもたちを地域で安心して産んで育てる庄原市の実現や子育て支援策として、「周産期医療の充実」、「給食費の無償化または補助」、「高校生の通学費の無料化または補助」、「奨学金制度の拡充」を実施すること。また、ひとり親家庭への更なる補助も検討すること。ほか

高齢者・障がい者等への福祉政策について

- ・医療費や健康診断費用の助成の拡充・強化
- ・重層的支援体制整備事業の深化に取り組むこと。ほか

農林水産業について

- ・昨年度から「人・農地プラン」が新たに「地域計画」として法定化され、地域での協議による農地利用の明確化と、農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化などの推進が期待される。更なる市域の状況把握と農業施策の展開を図ること。ほか

林業の活性化策について

- ・森林環境譲与税やひろしまの森づくり県民税を積極的に活用し、早期に森林の境界明確化事業と計画的な作業道の開設など、森林組合等と連携した取り組みを進め、「儲かる循環型林業」の推進を図ること。



谷口隆明

会派に所属しない議員のうちの議員が書面による要望を行いました。項目のみを掲載します。

- 住民本位の市政、民主的で効率的な行財政運営を行うこと。

うこと。

- 住民負担増など社会保障の後退はさせず、暮らしと福祉を守ること。
- 地域経済を振興し、安定した雇用を拡大すること。
- 子どもたちの豊かな成長を保障する教育を進め、庄原市ならではの子育て応援施策に取り組むこと。

松本みのり

- 教育・子育て環境について
- 安心・安全な生活環境について
- 農業・産業振興について
- 移住定住策について
- 公共施設のあり方について
- 福祉施策について
- 職員の働く環境改善に向けて

宇山茂之

- 商業地域の活性化のための取り組みについて
- 有害鳥獣対策の強化について
- 地域の文化財保存及び将来に向けた人材の育成について

- 自治振興区との連携強化について

木山義仁

- 農業振興施策について
- 安全・安心な暮らしの実現に向けた取り組みについて
- 市職員の働きやすい職場づくりについて

青山学

- 教育環境の充実について
- スポーツ施設の充実について

松森潤平

- 教育条件整備、教育環境の充実について
- 市内観光交流施設や宿泊施設等の経年劣化対策について
- スポーツ施設の老朽化に伴う整備について

令和7年12月

定例会議決結果

■賛成全員のもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
12月2日	議案	105	庄原市名誉市民の選定の同意について	同 意
		108	庄原市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
		110	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
		111	庄原市営バス設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		112	庄原市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		113	庄原市デイサービスセンター設置及び管理条例を廃止する条例	原案可決
		109	庄原市高齢者活動施設設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		114	庄原市デイホーム設置及び管理条例を廃止する条例	原案可決
		115	指定管理者の指定について	原案可決
		116	財産の無償譲渡について	原案可決
		117	財産の無償譲渡について	原案可決
		118	財産の無償譲渡について	原案可決
		119	備北地区消防組合規約の変更について	原案可決
120	損害賠償の額を定めることについて	原案可決		
12月17日	議案	128	庄原市職員の給与に関する条例及び庄原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
		132	財産の取得について	原案可決
	発議	8	特別委員会の設置について(地域生活交通に係る調査特別委員会)	原案可決
		9	特別委員会の設置について(第3期庄原市長期総合計画調査特別委員会)	原案可決
12月19日	議案	141	損害賠償の額を定めることについて	原案可決
		106	庄原市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決
		107	庄原市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決
		121	令和7年度庄原市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
		122	令和7年度庄原市休日診療センター特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		123	令和7年度庄原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		124	令和7年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第1号)	原案可決
		125	令和7年度庄原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		126	令和7年度庄原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		127	令和7年度庄原市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
		133	令和7年度庄原市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
		134	令和7年度庄原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
		135	令和7年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第2号)	原案可決
		136	令和7年度庄原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
		137	令和7年度庄原市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
		138	令和7年度庄原市介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		139	令和7年度庄原市下水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
140	令和7年度庄原市国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決		

■賛否の分かれたもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果	賛成(人)	反対(人)	松森潤平	青山学	木山義仁	堀内富夫	宇山茂之	岡野茂	松本みのり	國利知史	五島誠	徳永泰臣	前田智永	吉川遂也	桜田亮太	桂藤和夫	堀井慎一朗	近藤久子	福山権二	横路政之	谷口隆明		
12月17日	議案	129	庄原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	16	2	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	
		130	庄原市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×
		131	庄原市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×

[表示例] ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長職(通常は採決に加わらない) 棄…棄権 除…除斥

**12月
定例会**

令和7年度 一般会計・ 特別会計等補正予算



令和7年度一般会計補正予算

	会計名	補正額	補正後の総額
議案第121号	庄原市一般会計補正予算(第4号)	2億9,253万5千円(追加)	336億1,921万2千円
議案第133号	庄原市一般会計補正予算(第5号)	2億4,306万1千円(追加)	

一般会計補正予算(第4号)の主な内容

事業名【補正額】	補正内容
生活交通路線確保事業 【5,244万5千円追加】	庄原市バス運行対策補助金交付要綱に基づき交付する補助金の予算額に不足が生じるため追加するもの。
都市公園等整備事業 【1億4,916万9千円減額】	子どもたちと多世代の集いの場整備事業の内容の見直しに伴い、事業費を減額するもの。
道路維持修繕事業 【4,960万2千円追加】	総領地域で発生した令和7年9月豪雨による市道法面からの土砂撤去の復旧工事に係る経費等を追加するもの。

一般会計補正予算(第5号)の主な内容

事業名【補正額】	補正内容
物価高対応子育て応援手当支給事業 【7,932万円追加】	物価高騰対策として児童手当支給対象児童を養育する父母等に対し、子ども1人当たり一律2万円の給付金及び必要な事務に要する経費。

令和7年度特別会計・企業会計補正予算

	会計名	補正額	補正後の総額		
議案第122号	令和7年度庄原市休日診療センター特別会計補正予算(第1号)	32万2千円追加	1,302万6千円		
議案第123号	令和7年度庄原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	1,663万3千円追加	37億9,693万3千円		
議案第134号	令和7年度庄原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	452万6千円追加			
議案第124号	令和7年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第1号)	273万5千円追加	7,105万1千円		
議案第135号	令和7年度庄原市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第2号)	50万5千円追加			
議案第125号	令和7年度庄原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	20万4千円追加	8億921万円		
議案第136号	令和7年度庄原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	104万5千円追加			
議案第126号	令和7年度庄原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	7,002万1千円追加	63億8,760万5千円		
議案第137号	令和7年度庄原市介護保険特別会計補正予算(第3号)	355万8千円追加			
議案第127号	令和7年度庄原市下水道事業会計補正予算(第3号)	補正額	補正後の総額		
議案第139号	令和7年度庄原市下水道事業会計補正予算(第4号)			収益的収入(第3号)	20億2,157万円
	収益的収入(第4号)			395万9千円追加	
	収益的支出(第3号)			3,144万4千円追加	15億7,619万円
	収益的支出(第4号)			395万9千円追加	
	資本的収入(第3号)			243万7千円追加	4億1,089万4千円
	資本的収入(第4号)			106万円追加	
	資本的支出(第3号)			243万7千円追加	9億257万5千円
	資本的支出(第4号)	106万円追加			
議案第138号	令和7年度庄原市介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	361万4千円追加	5,859万9千円		
議案第140号	令和7年度庄原市国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)	補正額	補正後の総額		
		収益的収入	1,759万円追加	14億6,850万6千円	
		収益的支出	1,759万円追加	14億6,850万6千円	

一般質問

12月定例会では、16名が個人質問を行いました。



問 緊急を要する枯れ木等危険木の撤去などについては、連絡を受け、簡易なものには直ちに職員が直接対応している。

今後もし引き続き関係機関と連携し、子どもたちが安心して通学できる環境づくりに取り組んでいく。

答 「通学路交通安全プログラム」を見直し、歩道の設備や交通安全施設の設置など、必要な対策を計画的に講じている。

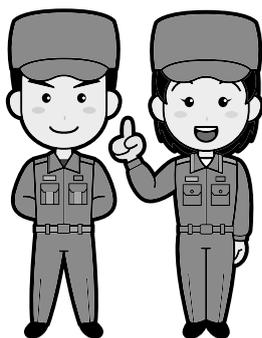
問 通学路の危険箇所には、歩道の未整備や交通量が多い道路、枯れ木の倒木など、多くの危険因子が存在する。市が考える児童が安心・安全に学校へ通える通学路の安全管理について、市長の見解を伺う。

児童の通学路の安全管理について



あおやま 青山 議員

一般質問の動画はこちらから



答 ①団員の確保・定着につながる取り組みに加え、活動別に対応した機能分化等の調査・研究を進め、効率的に地域防災力を発揮することができるよう消防団組織の維持・継続に努める。

②団員の意見も伺いながら、国の基準を踏まえた活動服への更新計画について、必要となる経費や財源の確保などと併せて、検討を進める。

問 ①今後どういった形で地域防災の役割を担う消防団組織を維持・継続していくのか。

②消防団の活動服を更新・支給されて年数が経過しているが、今後の活動服の更新計画を伺う。

庄原市消防団の今後について



きやま よしひと 議員
木山 義仁

一般質問の
動画は
こちらから



本市職員の人員確保および 人材育成について

問 労働環境を取り巻く情勢は、「雇用形態の多様化」、「有効求人倍率の上昇」、「働き方改革の取り組み」等、刻々と変化している。こうした中、令和8年度以降における次期長期総合計画の着実な実践に向けては、組織の基盤となる職員の確保および人材育成の強化が必要である。

答 こうした状況を踏まえ、「職員の確保」並びに「人材育成・能力開発」に向けた取り組みと成果、今後の取り組みについて、市長の見解を伺う。

答 「職員の確保」については、職員の働きがいの醸成に努めた結果、本年度の中途退職者は前年度比で大幅に減少した。

職員採用では、年齢要件の拡大、

公務員経験者・社会人経験者枠を新設し、採用情報の周知方法においても、市ホームページのトップバナー常設等を行った。その結果、受験者数・合格者数は近年を大きく上回り、一定の効果を確認している。

引き続き、「仕事のやりがい」と「働きやすさ」の両立を促進し、庄原市で働く魅力の積極的な発信に加え、職員自らが成長を期待でき、働き続けることができる職場づくりに取り組む。

「人材育成・能力開発」については、「庄原市人材育成基本方針」に基づき、職員一人ひとりの資質向上と能力開発に注力した人材育成に努めている。また、次年度に向け、世代を超えた職員間の連携を促進し、企画立案から政策提言に至るまでの一連のプロセスを包括する新たな研修機会の導入に加え、OJTの主軸となる管理・監督職の能力向上を促す人材育成を推進していく。



おかの しげお 議員
岡野 茂

一般質問の
動画は
こちらから



在宅介護福祉サービスの 維持対策について

問 ① 厳しい経営にある訪問介護・居宅介護支援事業所に対して、緊急的な経営支援策が必要と考えるが所見を伺う。

② 介護福祉人材確保の対策が急務と考えるが所見を伺う。

答 ① 全国市長会要望など様々な機会を通じ、国に対して、介護サービスの持続性や地域性を考慮した介護報酬、介護職員の処遇改善に係る財源の確保等、引き続き要望していく。

② 訪問介護に従事できる介護サポーターの養成や研修受講費の補助、ICT・介護ロボットの導入による業務効率化を図るための取り組みを支援している。また、庄原市介護人材確保等協議会による、就職面接会の開催や外国人職員のためのコミュニケーション講座など、多様な

事業も行っている。

介護福祉タクシーの 運行維持対策について

問 ① 身体障害者の方が安心して利用できる介護タクシーの運行維持のため、他の公共交通と同様に、運行継続のための支援が必要と考えるが所見を伺う。

② 福祉車両貸出事業の利用が広がらない状況が続くのであれば、車両を一般乗用旅客自動車運送事業者へ貸出すことも有効と考えるが所見を伺う。

答 ① 国の経済対策を除き運行経費に対する補助は行っていない。一方でタクシー利用助成券交付事業により、介護タクシーの利用促進が図られていると考える。

現在策定中の地域公共交通計画にも福祉輸送の視点を盛り込み、引き続き関係者と連携し、調査・検討に努める。

② 現在の車両は契約上、貸借権に制限があるため、貸出は困難な状況であるが、今後必要な方にご利用いただけるよう、周知方法の工夫などの取り組みを進めていく。

一般質問



よころ まさゆき 議員
横路 政之

一般質問の
動画は
こちらから



本市の将来像について

問 人口が減っても一人ひとりのウェルビーイングが損なわれないことを目指すスマートシユリンク(賢く縮む)という考え方を、まちづくりの旗印に掲げるべきと考えるが見解を伺う。

答 スマートシユリンクの表現については、第3期長期総合計画の素案には明記していないが、国が「地方創生2・0」で示す「人口規模が縮小しても、社会経済が機能しうる豊かな社会の実現をめざす」考え方を、策定にあたり踏まえるべき事項と捉えている。

庄原市の魅力発信について

問 神武天皇陵と伝えられる「日本ピラミッド」に至る案内板、トイレ、遊歩道などは、整備から30年以上経過し、劣化が激しく役割を果たしていない状態ではあるが、現在も多くの人が訪れている。来訪を次に繋げる意味からも早急な整備が必要と考えるが、見解を伺う。

答 案内板や遊歩道の整備については財源を確保した上で整備を行うよう、現在検討を進めている。整備内容については、今後地元と協議を行いながら具体化していく。



その他の質問
○有害鳥獣対策について



ほり いちろう 議員
堀井 慎一郎

一般質問の
動画は
こちらから



人口減少対策としての移住・定住施策の強化について

問 ①「移住・定住トータルサポート窓口」および「空き家バンク事業」の直近1年間の実績とその評価について伺う。
②移住・定住を希望する方への多岐にわたる情報提供のため、自治振興区・民間企業・商工会議所等と協議会組織を立ち上げ、情報共有・連携体制を構築するべきではないか。

答 ①令和6年度では、34世帯、74名の移住が実現し、空き家バンクでは、新規登録件数が35件であり、10件の契約が成立している。「移住・定住トータルサポート窓口」や「空き家バンク事業」が、一定の成果を発揮していると認識している。

②まずは今ある連携体制のもとで課題分析を進め、必要に応じた機能

強化を図っていききたい。

西城市民病院の老朽化対応と地域医療の今後の確保について

問 ①令和6年度に実施された「医療体制に係る調査事業」について、その後の進捗状況は。
②西城市民病院が推進してきた地域包括ケアを今後も継続的に実施していくための課題とその対応状況について伺う。

答 ①公的病院や公設診療所によるべき地医療対策の強化に加え、西城市民病院の地域性や強みを活かした役割の明確化や市内医療機関との連携強化について、関係機関等との協議に向けた調整を進めている。

②医師をはじめとした医療従事者の確保が必須の課題である。現在、広島大学や近隣の医療機関との連携強化や医学生の実習受入により、継続的な医師の確保に取り組むとともに、看護師等の確保にあたっては、行政回覧、ホームページ、ハローワーク等への求人募集や、看護学校への訪問授業や実習の受け入れ等を行い、人材の確保に努めている。

一般質問



うやま しげゆき 議員
宇山 茂之

一般質問の
動画は
こちらから



本市における商業振興について

問 ①人口減少や高齢化が進む中で、地域商業の維持・活性化に向けての施策について伺う。

②電子商取引や大型チェーン店進出の影響を踏まえた地域の小規模小売店等への支援策について伺う。

③地域の商業と医療、福祉などとの連携を進めるべきと考えるが市長の見解を伺う。

④小規模商店の支援や商業振興につなげるため、もっと市が積極的に、具体的な取り組みを行うべきと考えるが、見解を伺う。

答 ①日常生活に必要な商品の販

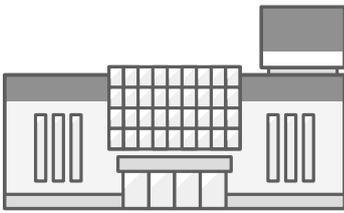
売やサービスを提供している店舗の改装費用補助や、空き店舗の有効活用を促進するための創業支援、店舗改装費用の補助などを実施し、「事業継続支援」と「創業支援」

の両面から支援している。

②地域内経済の循環と活性化を一層促進するため、「なみか・ほろか」カードの取り組みを推進している。加盟店からの手数料は低率に設定しており、加盟店の負担を軽減しつつ、地域内でのキャッシュレス決済の利用拡大と消費喚起を推進している。

③商業は、商品の売買やサービスの提供を通じて利益を得る経済活動であり、その中で連携が進められるものと考え、市の関与が求められる場合は適時対応していく。

④移動販売車による買物弱者支援などを行っている。小売店の事業継続支援を引き続き実施するとともに、「なみか・ほろか」カードの取り組みを通じて、地域経済の循環を促進し、事業者の経営を支援していく。



たかひろ たかひろ 議員
谷口 隆明

一般質問の
動画は
こちらから



不登校の捉え方と支援のあり方について

問 ①2024年度、不登校が12年連続で増え、小中学校で35万人、全体の3・9%と文部科学省が公表したが、庄原市も例外ではない。なぜ不登校が増えたのか、見解を伺う。

②学校が子どもと同じ目線で話をする関係性を広げ、子どもの思いを丸ごと受け止め、休息と回復を温かく見守り、子どもの安心の場となることが期待される。学校での不登校対策はどのように取り組まれているのか伺う。

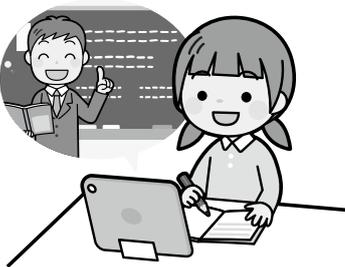
答 ①不登校に対する考え方の多

様化のほか、長期化したコロナ禍による生活環境の変化等も影響していると認識している。一つの要因だけでなく、学校・家庭・本人・

社会における要因が複雑に絡み合っていることもあり、中には、要因がはっきりと特定できない子どももいる等、増加につながる顕著な要因はない。

②家庭訪問を通して学習プリントの提供や個別学習支援、場合によっては、別室指導やオンラインでの学習に加え、学校行事などの様子を伝えるとともに、行事参加希望の取り組みも行っている。

要因をひとつひとつ解決するためには、関係機関との連携も必要であり、実態によっては、保護者に対して医療機関や専門機関を紹介するなど、より専門的な立場から心のケアも行い、子どもたちの意欲につながる働きかけも行っている。



その他の質問

○2026年度予算編成方針について

一般質問



ほりうち ともひろ 議員

一般質問の動画はこちらから



地域に根ざした「庄原型の働き方」を創るための仕組みづくりについて

問

本市では若年層の転出超過が続き、若者は「仕事がない」、事業者は「人手不足」と感じるミスマッチが生じている。

副業・複業・リモートワーク等の新しい働き方を取り入れ、特に若い女性が挑戦できる環境整備が重要だと考えるが、市の見解、取り組みを伺う。

答

「庄原でいきいき働く」就職ガイダンスを定期的に開催しており、地元企業の魅力や職場の雰囲気を感じることができる取り組みも行っている。また、女性の在宅勤務の促進や、職域拡大に向けた支援の一環として広島県がオンラインのデジタル基礎研修会を実施した際、本市の子育て支援センターの利用者を中心に広く周知し、ZOOMやCh

atGPTの基本操作、チラシ作成などを学べる機会を提供した。

多文化共生と市民参画による新しい庄原市の地域づくりについて

問

外国人住民を企業の労働力としてだけでなく、地域の仲間・文化の担い手として迎える多文化共生と、市民が参加しやすい国際交流の仕組みづくりについて、市長の見解を伺う。

答

しょうばら国際交流協会を中心に、多文化共生社会の実現に向けた取り組みを進めており、引き続き、生活相談をはじめとする支援や日本語講座、文化交流事業などを、現在のニーズに合わせてブラッシュアップしていく。

また、本市では、社会規範や生活様式の理解促進を図っている。こうした事業を継続的に行うことで、市民と外国人住民との相互理解が深まり、より効果的な交流機会の創出につながると考える。今後も地域や関係団体、外国人住民を受け入れている企業等と連携を図り、潜在的なニーズの把握に努める。



まつもと まつひろ 議員

一般質問の動画はこちらから



メンバーとの包括連携協定について

問

本市は「株式会社メンバー」と7つの事項について、包括連携協定を締結された。アウトドアツーリズムや地域への波及効果を生み出すための今後の具体的な方針を伺う。

答

「メンバークラブ」会員へ本市の情報を周知いただくため、メンバーフレンドエリアへの登録、市内事業者のメンバーフレンドショップへの登録・拡大に向けた準備を進めている。

今後は双方で協議・検討をしながら、アウトドアを通じた観光振興および健康づくりの推進、滞在時間の延長、宿泊・飲食・特産品の消費拡大等の仕組みのほか、協定で掲げた連携事項の中で実現可

能性の高い取り組みから、順次具体化し進めていく。

小中学校の給食無償化について

問

国も2026年度からの小学校給食無償化に向けて動いている中、子育て支援や経済的負担軽減の観点から、改めて学校給食無償化についての見解を伺う。

答

給食費無償化については、自治体がそれぞれ独自に実施するものではなく、国が責任をもつて必要な額を確保する仕組みにすべきであると考えており、中学校を含めて完全無償となるよう、国に対し、教育長会等を通じて要請していく。



一般質問



みつおか みのる 議員

一般質問の動画はこちら



令和8年度予算編成方針に見る本市の将来像について

問

令和8年度予算編成方針では、人口減少と厳しい財政状況下で「客観的データによる費用対効果」が強調されたが、利用者数等の単純な指標では、中山間地域の施設は存続が危ぶまれる。

目先の帳尻合わせではなく中長期的な市民の幸福確保が重要である中、市長が追及する「効果」とは何か。それは単なる財政的収支のみを指すのか、それとも住民の生活の質の向上やコミュニティ維持といった「社会的効果」までを含むのか。本市の方針としての定義を伺う。

答

「費用対効果」は、単なる財政的収支の改善に限定されるものではなく、市民生活の向上、災害への備え、地域コミュニティの



維持・醸成、将来世代への機会保障など、客観的な数値のみでは測れない、幅広い社会的価値を含むものである。

予算査定にあたっては、地方自治法の原則に則り、財政的収支の視点に加え、客観的な数値のみでは測れない社会的価値の考え方を併せ持つて、短期的な効果だけでなく、5年後、10年後の庄原市を見据えた中長期的な視点を踏まえ、予算編成を進めている。



まつもと みおり 議員

一般質問の動画はこちら



まちの未来を元気にする、これからの公共施設のあり方のために

問

①施設の基本情報や利用状況、維持管理情報などを掲載した「公共施設等基本情報シート」の今後の更新と活用に向けて、どのように取り組むのか伺う。

②使わない公共施設や土地等の財産については、迅速な利活用につなげるため、施設等のどのような情報が必要か、貸出や売却、譲渡のための手順などを整理しておくことが不可欠と考えるが、現状について伺う。

答

①必要な施設は資産として有効に活用し、不要な施設は廃止に向けた整理を進めることが必要である。そのためには市民の皆さんの理解を得ることが重要であり、その参考資料として、必要に応じて「基

本情報シート」を更新・提供するとともに、各施設の評価や今後の方向性を取りまとめた「個別施設計画」を公表し、議論を始めていく。

②未利用財産の利活用・処分については、「公有財産管理規則」および「普通財産処分事務処理要領」において、各手続きを定め、事務手続きを行っている。普通財産については未利用財産一覧表を作成し、毎年度更新することで各財産の現状を把握し、活用の可能性を検討している。



一般質問



とくなが ひろあき 議員

一般質問の動画はこちらから



比婆山御陵にある天然記念物「イチイ群」の保存と保全施策について

問 近年、群落維持に影響を与える要因が増え、生育環境悪化が懸念されている。定期調査や専門機関との連携を含め、保存体制を今後どのように強化するのか。将来にわたり適切に保存するための市の方針と取り組みについて伺う。

答 令和6年12月には、登山道の踏圧対策も行っており、今後後も公園管理者である広島県と連携を取りつつ、国の許可を得る中で、市教育委員会とすることができることを取り組んでいく。

今後のテレビ共聴施設組合について

問 2008年から2010年にかけて、本市では地上デジタル放送への対応として、各地のテレビ共聴施設への改修助成を行ったが、高齢化による共聴組織への参加戸数の減少などにより、個人負担の増加や施設の老朽化も進んでいる。導入から15年以上が経過し、新たな方向性を示す時期に来ていると考えるが、市としての取り組みを伺う。

答 共聴施設は組合所有の資産であることから、改修・修繕や維持管理費用等は受益者である組合が負担すべきものであり、今後の方向性についても、最終的には組合で判断されるものである。施設改修を希望される場合には国の補助事業の対象となるが、施設規模によっては組合に多額の経費負担が生じ、現実的に活用が困難な場合もある。市へ相談いただいた際には、民間事業者が運営する超高速情報通信網を活用したテレビ放送サービス等の情報についても案内している。



ふくやま けんじ 議員

一般質問の動画はこちらから



本市の林業振興について

問 第3期長期総合計画策定の段階で本市の林業振興についてどのように位置付け、検討されているのか見解を伺う。

答 林業振興については、「安心な暮らしの充実」の柱に「生業と里山環境の維持」として位置付け、地域社会の安全・安心に寄与することを目指す。また、「将来に希望がなくなっていく仕組みづくり」の柱には、「林業の振興」として位置付け、林業の基盤産業化を目指す。こうした施策の取り組みを進め、林業が地域経済を支える重要な産業としての役割を再び担うことで、持続可能な地域の発展に寄与することを目指していく。

本市の人口減少対策に関する第3期庄原市長期総合計画について

問 人口減少対策を最重要課題と位置付け、各種施策に取り組んできたが、人口減少が続いている。策定中の第3期庄原市長期総合計画では人口減少対策をどのように位置付け、どのような市行政組織形態で取り組もうとしているのか見解を伺う。

答 第3期長期総合計画では、「地方創生2・0」の考え方を踏まえ、将来の人口規模を推計し、その展望を踏まえた上で、人口減少社会に適切に対応する視点を持つこととしている。組織体制の整備については、政策・施策が目標指標に照らして想定どおり進捗しているか、改善すべき点は何かなど、適切にPDCAサイクルを回し、施策を推進するための体制となるよう検討していく。

一般質問

答 現時点で大きなトラブルの発生や規制上の課題は確認されていないため、規制条例等の制定は検討していない。したがって直ちに新たな統括部門の設置や体制強化を行う必要はないと考えている。

今後は、景観への影響や地域住民との合意形成などに対する国の規制の拡大も想定されることから、これからの状況を注視していく。

問 太陽光発電事業に伴う土砂流出や自然環境への影響増加を受け、環境省はガイドラインを策定した。ゼロカーボンシティ宣言による脱炭素社会の実現のため太陽光発電設備設置制限・管理条例の制定や管理監視・指導を行う部署を設置し、主体的に取り組む組織体制構築が必要と考えるが見解を伺う。

再生可能エネルギーの導入に伴う取り組みについて



前田 智永 議員

一般質問の動画はこちらから



若者の移住・定住を推進するための市長の戦略について

問 各自治振興区等では様々な移住・定住対策を目的とした取り組みを実施されているが、すぐに住める住宅がない現状にある。若者の移住・定住者のニーズに合った住宅を、国費等を活用して早急に整備すべきである。社会増の実現への市長の戦略的な政策実行が必要不可欠と考えるが見解を伺う。

答 市営住宅に関しては、庄原市全体を俯瞰し、戸数の適正化を進めていく必要がある。いったん建設すると将来にわたって管理コストが生じることなども考慮し、慎重に判断する必要がある。

一地域居住の推進や従業員の確保といった、市の施策を推進するうえで有効性が認められる案件で、迅速に対応しなければ機会損失につながる可能性があるということも念頭に検討していく。

教育のまち庄原へ向けて



五島 誠 議員

一般質問の動画はこちらから



問 存続に向けて、乗車人数増加への取り組みにとどまらず、芸備線そのものの価値を表面化させる事業に取り組む必要がある。市として覚悟を持って、取り組みを今後どのように行っていくのか。また、実証事業の進捗と課題、今後の展望について伺う。

JR芸備線存続に向けて

問 教育移住の取り組みを進めるため、私立学校開設に伴う事象に注視しつつ、市役所の横断的対応により、情報共有、空き家やお試し拠点施設整備などを行い、教育で選ばれるまちづくりを進めることが、大きな希望になると考えるが所見を伺う。

答 本年4月に「川北こどもの夢小学校」が開校されたことに伴い、この学校で学ばせたいという方々から、住まいや移住に関する問い合わせが多く寄せられている。こうした移住希望の声を大切にしながら、定住促進や地域活性化などに繋げていく必要があると考えている。

答 実証事業では、臨時列車の運行やダイヤの変更をはじめ、観光ツアーなどの施策を実施する中で、地域経済効果に加え、芸備線の多様な価値と潜在需要の掘り起こしに取り組んでいるが、「自然」や「食」など、本市ならではの魅力を十分に打ち出せていないと感じている。これまでの施策に対する利用者や関係者の意見に耳を傾け、柔軟に内容をアレンジしながら取り組みを進めていく。

地域経済の活性化のほか、利用者数や運賃収入で計ることのできない多様な価値を創出する視点を持ちながら、再構築協議会の議論に臨み、芸備線の維持・存続に取り組んでいく。



さくらだ りょうた 議員

一般質問の動画はこちらから



有害鳥獣対策について

問 ①住民、猟友会、本市が連携を密にし、防除、環境改善、捕獲を更に進め、イノシシだけでなく、シカ対策用の柵の設置を普及させなくてはならないと考えるが見解を伺う。

答 ②一連の手続きをひとつの窓口で行える「有害鳥獣対策課」を創設すべきと考えるが見解を伺う。

答 ①昨年度から二ホンジカにも対応可能な複合柵の設置、既設のメッシュ柵に対する機能強化柵の設置も有害鳥獣防除事業の対象に追加し、農作物被害の軽減に努めている。
②現時点では、鳥獣対策に特化した課の創設は検討していない。必要に応じて今後の組織体制を検討していく。

本市における

移住者支援について

問 ①民間賃貸物件家賃補助や五萬の里分譲団地のように市有地を安価で分譲、市営住宅の改修貸付のほか、民間による住宅建設への支援などが有効と考えるが見解を伺う。

答 ②仕事の斡旋やマッチング、職種形態を問わず就職支援金の創設等、積極的な支援を行ってはどうか。

答

①民間賃貸住宅に対する家賃補助は、現段階での導入は困難であると考えている。五萬の里分譲団地は、今後も効果を注視していく必要があるが、市営住宅については、全市的な住宅ストックの適正管理と老朽化対策を適切に進める。民間による住宅建設では、制度的な内容も含め研究を進めていく。効果と公平性を慎重に見極めながら、持続可能な施策展開に努める。

②財源確保や費用対効果の面から慎重な検討が必要であると考えており、まずは既存の支援制度の一層の周知に努める。

その他の質問

○本市におけるパブリシティについて

令和7年度 広島県市議会議長会 北部ブロック議員研修会

広島県市議会議長会は、地方自治の発展と相互の提携を目的とし、広島県の各市議会議長で構成する組織です。その中で、県北部の中山間地域に位置し、様々な地域課題を同じくする庄原市・三次市・安芸高田市の3市議会の議員を対象とした北部ブロック議員研修会が安芸高田市において開催されました。

研修では、「安芸高田市における多文化共生の推進」と題し、「NPO法人 安芸高田市国際交流協会 事務局長 稲田 幸久氏」を講師とした講演会が開かれました。その後、稲田氏が脚本・監督をされた「ベルサーマ 声をなくした二人」の上映会が行われ、多文化共生についての理解を深めました。

現在、地域にとって貴重な労働力・担い手として活躍する外国人も多く、国籍や文化の異なる人々が互いに理解し合い、支えあって暮らす社会「多文化共生」を実現する必要があります。

今回の研修で学んだ内容については、今後、各議員の議員活動に活かしてまいります。

3・4期目議員12月定例会を終えての感想



桂藤 和夫 議員

昨年4月の選挙で8名の新人議員を含む19名で、第6期目の市議会がスタートしております。浅学非才ながら、議長という大役を担っておりますが、昨年の3回の定例会を経験し、しっかりとした職務が全う出来ず、失敗と反省の念をぬぐい切れなかったと感じております。

また、12月定例会では、15の補正予算議案や2つの特別委員会の設置等を議決し、閉会いたしました。市議会といたしましても、来年度以降、決意を新たにし、人口減少社会の中で、市民の声に向き合いながら「市民福祉の向上」に一丸となって取り組んでいく必要があると考えています。

引続き、ご支援・ご協力を心よりよろしくお願い申し上げます。



五島 誠 議員

12月議会では長期総合計画調査特別委員会と地域生活交通に係る調査特別委員会の2

つの特別委員会が設置されました。特に長期総合計画については、3月議会に上程される予定であり、これからしっかりとそれに向けて準備、そして議会として意見反映ができるよう協議を行って参ります。また、3月議会では、いよいよ新市長初の当初予算編成も控えており、今後の庄原市の方向性を占う会議となります。一人一人の議員が市民の皆様の思いを背負って様々な提案ができるよう、議会全体のことも考えながらすすめて参りたいと思います。

今後も市民の皆様には期待を持って議会に注目していただけるよう、尽力してまいりますので是非傍聴、YouTube視聴などよろしくお願いいたします。



近藤 久子 議員

「年老いても認知症になっても、安心して生きるには何が必要なのか」会派研修で受講した内容を基に、社協の担当者の方や、介護職のケアマネ、ヘルパーさんのお声を直にお聴きし、12月定例会に向け準備をしていた矢先にコロナ感染。質問内容の提出期間と重なり、残念ながら演台に立つことが出来ませんでした。

介護人材の不足には待遇改善を。家族における介護疲れ等々の、多くのご示唆をこれからの議員活動に活かしてまいります。



令和7年

議会活動1年間

本会議

回数		1	2	3	4	5	6	計
会議区分		定例会	臨時会	臨時会	定例会	定例会	定例会	6
会期日数		25日間	1日間	1日間	21日間	28日間	18日間	94日間
開催日		2月14日、 3月3・4・ 5・10日	4月28日	5月22日	6月10・ 24・25・ 26・30日	9月2・ 18・19・ 22・25・ 29日	12月2・ 15・16・ 17・19日	-
審議案件	条例	9	1		1	5	13	29
	予算	26			2	5	15	48
	発議	3			2	2	2	9
	請願							0
	その他	30	11	2	2	19	9	73
	計	68	12	2	7	31	39	159
審議結果	原案可決	49	2		7	13	38	109
	修正可決							0
	同意	16	1	2		5	1	25
	承認		2					2
	選任							0
	許可							0
	認定					13		13
	推せん	3	5					8
	否決							0
	請願	採択						
	趣旨採択							0
	不採択							0
	継続審査							0
	継続審査							0
	選挙		2					2
	議員出席率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

常任委員会

常任委員会	区分	回数		出席率	
		開会中	閉会中	開会中	閉会中
総務	委員会	9回	8回	100.0%	100.0%
	調査会	—	1回	—	100.0%
教育民生	委員会	7回	3回	100.0%	94.4%
	調査会	—	1回	—	100.0%
企画建設	委員会	7回	4回	100.0%	95.8%
	調査会	—	2回	—	100.0%
予算決算	委員会	10回	2回	98.9%	97.2%
	調査会	—	—	—	—

予算決算常任委員会 分科会

分科会	区分	回数	出席率
総務	令和6年度決算	6回	100.0%
	令和7年度予算	4回	100.0%
教育民生	令和6年度決算	5回	100.0%
	令和7年度予算	4回	100.0%
企画建設	令和6年度決算	5回	96.7%
	令和7年度予算	5回	96.7%

特別委員会

	回数	出席率
議員定数及び議員報酬調査	1回	100.0%
地域生活交通に係る調査（第5期）	3回	100.0%
第3期庄原市長期総合計画調査	2回	94.4%
地域生活交通に係る調査（第6期）	1回	100.0%

その他

	回数	出席率
議会運営委員会	25回	98.0%
議員全員協議会	14回	97.4%
議会広報委員会	9回	100.0%

しょうばら市議会だより WEB版 発信についてのお知らせ

現在、「しょうばら市議会だより」は、原則年4回、定例会の報告などを中心に発行しています。

しょうばら市議会だよりWEB版は、令和6年度から市議会だよりで紹介しきれなかった内容や、お伝えしたい内容があるときに発行期間等に囚われずリアルタイムで市議会HPに掲載しています。

今後も、発信を続けてまいりますので、是非、ご覧ください。



～広報委員長から～

日に日に世界が悪くなる、という朝ドラの歌で一日が始まっています。

この数カ月、国内外で起こっている変化は急速で過激的です。

このような中で、庄原の優しい街づくりを元気に進めるために市議会は奮闘します。

奮闘の第1は、議会の取り組みをより早く正確に市民の皆さんにお知らせすることだと考えています。そのため、市議会は「しょうばら市議会だより」の定期発行に加え、WEB版を発行しています。是非、ご一読ください。



議会の動き

11・12・1月

11月

- 5日 教育民生常任委員会
- 19日 議員全員協議会
総務常任委員会
- 25日 議会運営委員会
- 27日 総務常任委員会

- 15日 第6回市議会定例会 2日目
- 16日 第6回市議会定例会 3日目
- 17日 第6回市議会定例会 4日目
- 18日 教育民生常任委員会
企画建設常任委員会
- 19日 議会運営委員会

- 7日 議会広報委員会
企画建設常任委員会
- 8日 総務常任委員会
- 9日 教育民生常任委員会
- 13日 議会運営委員会
教育民生調査会
- 20日 第1回市議会臨時会
予算決算常任委員会
地域生活交通に係る調査特別委員会

12月

- 2日 議会運営委員会
第6回市議会定例会 初日
- 3日 教育民生常任委員会
- 4日 予算決算常任委員会
総務常任委員会
議員全員協議会
- 10日 総務常任委員会
- 12日 企画建設常任委員会
- 15日 議会運営委員会

- 第6回市議会定例会 最終日
- 議員全員協議会
- 第3期庄原市長期総合計画調査特別委員会
地域生活交通に係る調査特別委員会
- 議会広報委員会
- 24日 第3期庄原市長期総合計画調査特別委員会

- 21日 総務常任委員会行政視察
- 22日 総務常任委員会行政視察
- 23日 議会広報委員会
- 26日 企画建設常任委員会行政視察
- 27日 企画建設常任委員会行政視察
- 28日 総務常任委員会
第3期庄原市長期総合計画調査特別委員会

1月

- 7日 議会運営委員会
第3期庄原市長期総合計画調査特別委員会

3月定例会の主な日程(予定)

日にち	主な会議名
2月20日(金)	本会議
3月13日(金)	本会議【一般質問(代表)】
3月16日(月)	本会議【一般質問(個人)】
3月17日(火)	本会議【一般質問(個人)】
3月23日(月)	本会議

※予定のため、変更となる場合があります。
詳しくは議会事務局(☎0824-73-1162)へお問い合わせください。
本会議は、いずれも午前10時から開会の予定です。

本会議生中継映像をインターネット上で配信しています。
録画映像もご覧いただくことができます。ぜひご利用ください。

庄原市議会 中継

検索



編集後記

「議会は何をしているのか分からない」という声を伺うことがあります。12月定例会の様子を少しでも身近に、そして熱心な議論が交わされたことを少しでも感じていただきたい。そんな思いで、伝わりやすさを自問自答しながら編集後記を書いていきます。

今定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。人口減少が進む本市で、今後どのような未来を描いていけるか。「市民と語る会」などで伺った地域の課題について、執行部と議員との間で、多角的な視点から熱意のこもった議論が展開されました。解決すべき課題は多く、現在策

議会広報委員会
委員長 福山 権二
副委員長 五島 誠
委員 徳永 泰臣
桂藤 和夫
吉川 遂也
前田 智永

(吉川 遂也)

《表紙写真の説明》



今回の表紙写真は、冷たい雪の中でも元気いっぱいの子どもの様子です。